
灰皿の上から...

ツチノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

灰皿の上から…

【Nコード】

N1532D

【作者名】

ツチノコ

【あらすじ】

煙草の煙のように、ただダラダラと自由に生きている男子大学生の心情、生活を綴った物語

第一話：ダメ人間

『嗚呼…ダルい…』

毎日がこんな一言で始まり、こんな一言で終わる。

朝起きて、まずすることといえば長い付き合いのSeven Starsにお気に入りのオイルライターで火をつけること。

肺に煙をおくり、自分の不甲斐なさと一緒に吐き出す。

僕は田舎から上京してきた一人暮らしの大学生である。

偏差値40を下回る、お金さえ払えば誰でも入れるような大学の四回生である。

就活はしていない。

ミュージシャンになりたいとか、漫画家になりたいとか、そんな大きな夢があるわけじゃない。

ただ、働きたくないだけのゆとり世代の代表である。

こんな奴だから、アルバイトもろくにしたこともない。

何でも『面倒くさい』で終わらせてしまうので、彼女もいた試しもない。

そのくせ、『彼女欲しいなあ…』とか『何か楽しいことないかなあ…』といつも呟いているどうしようもない典型的なダメ人間。

こんな【貧乏無気力童貞】という名の粗大ゴミでも、人間誰しも何か一つは良いところがあるもので、やたらと友達が多い。

授業の単位は足りているのに、暇つぶしのため毎日大学に通っているのはこのためでもある。

仕送り前でお金が無く、財布の中が少子化問題でも、ご飯やジュースをおごってくれる友がいる…

煙草が無くなれば、『仕方ないなあー』と微笑んで、煙草を差し出してくれる友がいる…

『お金が無くて、生きていける』

これが僕の口癖になった。

人の優しさは、僕の心を糖尿病にした。

無邪気な優しさは人をダメにする。

今日もまたダラダラと煙草の煙のように人生を謳歌するのだろう…

例え、母親に『銭食うだけの野良猫』と罵られたとしても…

第2話：心の掃除／成長への一歩

朝早くに目が覚めた…

これはきつと奇跡だ。

特にやることもないから、部屋の掃除でもしてみようと思った。

もちろん、煙草を吸った後に。

とりあえず、布団を干す。

布団を叩くとキノコ雲みたいな煙が出た。

呆然とする僕。

『うわあ…』

自分で自分に失望した、この日を僕は忘れないだろう。

『パンパンパンパン』

朝靄が残る街に僕が奏でる音が響く…

『うるせえ！！』

『なーに！？』

近所の人々の怒りが遠慮なく僕の布団に浴びせられる。

シミにならなければいいが…

次に部屋の掃除。

掃除機をかけた後に雑巾がけ。

隣の部屋の女性からの苦情。

関係ない。

続いてお風呂の掃除。

足が濡れ、恐ろしく寒い…

『俺は将来、絶対寒い所で暮らさない』

珍しく決意表明。

最後にトイレの掃除。

何度もブラシで擦っても落ちない汚れ…

どんなに洗剤をかけても落ちない汚れ…

『人間の過去みたい』

小さな独り言。

『掃除をするときも磨かれる』

小学生の頃、担任の先生が言ってた。

確かに清々しいが、心が磨かれたなんてわからない。

ブラシで磨いたのは便器であって、僕の心ではない。

この辺の面倒くさいところが友人に【DNA性格】と命名された所以である。

掃除の後、コンビニに行った。

煙草が無くなってたから。

あまりにも寒かったので、煙草の他に肉まんホットコーヒーも買った。

帰り道、野良猫が鼻水垂らしながら、すり寄ってきた。

『お前も寒かろう…』

肉まんを少しちぎって、猫にあげた。

いつもなら『シッ』と追い払う僕なのに小さじ一杯分の優しさをみせた。

ふと思った。

『少しだけ人として成長できたかも…』

心が少しだけ綺麗になったかもしれない。

鈴木先生ありがとう。

満足げに家路を急ぐ。

鼻歌なんかならしちゃってさ。

マンシヨンの手前でウ。コを踏んだ。

やっぱり、慣れないことはしないほうがいい…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1532d/>

灰皿の上から...

2010年10月10日03時20分発行